

動物研究部

飛騨牛の繁殖について発表！ 高校生が農家と意見交換



飛騨牛の改良方針を検討する「和牛改良研究会」が16、17日、高山市内であり、農家や農業高校生が意見を

飛騨牛改良へ活動発表

高校生が農家と意見交換

高山市

和牛生産に携わる人が一丸となり、さらなる飛騨牛ブランドの強化を目指そうと、全国和牛登録協会県支部が年に1回開いている。新型コロナウイルスのため4年ぶりの開催となった今年は、2027年に北海道で開かれる全国和牛能力共進会出品へ結束を確認した。

17日は同市冬頭町のJAひだ飛騨地域農業管理センターで飛騨高山、大垣養老、加茂農林の3高校の生徒が取り組みを発表。飛騨高山

和牛繁殖の取り組みを発表する生徒＝高山市冬頭町、JAひだ飛騨地域農業管理センター

高の動物研究部の生徒は「想像していた何倍もやることがあり大変だが、コツコツやっている」と繁殖する牛を紹介した。同校が10年以上かけて育てる雌牛「ともみ」系での種雄牛を育てることを目指し「勉強を進めていきたい」と話した。

北海道大会の県出品対策委員会による改良方針の報告や、各地域の和牛改良組合による発表もあった。

(安井真由子)